

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和4年 7月 25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社DNPテクノパック 取締役社長 鈴木 康仁

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム
適 用 範 囲	株式会社DNPテクノパック
導 入 年 月 日	1993年 11月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	DNPグループは、限られた地球資源のなかで、持続可能な社会を形成していくために、環境法規の遵守はもとより、あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境への負荷を低減するとともに、生物多様性への取り組みを推進する。 ① DNPグループ各社は、環境方針を掲げ、目的および目標を定め、定期的に見直し、継続的改善および汚染の予防に努める。 ② 建物を建築するときや設備を開発、導入するときは、環境への影響について、事前に十分な調査、予測、評価を行い、環境保全に適正な配慮をする。また、再生可能エネルギーの利用などについて積極的に取り組む。 ③ 製品を研究、開発、設計、製造、販売するときは、原材料の調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでの環境への影響、特に省エネ、省資源、有害物質の削減に配慮する。 ④ 原材料、事務用品、備品などを購入するときは、天然資源の保護に有益であり、かつ、リサイクルしやすい物品を選択する。 ⑤ 製品を製造するときは、環境法規を遵守することはもとより、さらに高い目標を掲げて、大気、水域、土壌への汚染物質の排出を減少させるとともに、悪臭、騒音、振動、地盤沈下の原因をつくりださないよう細心の注意を払う。また、地球温暖化防止、省資源、産業廃棄物の削減を図るため、設備、技術、生産工程を改善する。 ⑥ 事業活動に伴って排出される不要物は、まず、決められた基準で分別回収し、ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）を目指して可能な限りリサイクルを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・温暖化防止 温室効果ガス排出量を2030年度までに2015年度比40%削減する。 ・輸送環境負荷削減 輸送用燃料使用量原単位（エネルギー使用量/売上高）を毎年1%削減する。 ・環境保全：法規制及び自主基準遵守 他にVOC削減・産業廃棄物削減・水使用量削減・ 環境配慮製品・サービスの開発販売について目標を設定。
目標を達成するための取組の内容	・6つのテーマ【温暖化防止】【輸送環境負荷削減】【VOC】【産業廃棄物削減】【水使用量削減】【環境配慮製品・サービスの開発・販売】についてアクションプランに沿って取組んでいます。
目標を達成するための取組の進捗状況	サイトエコレポートにて進捗管理を行っています。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	ほぼ当初計画通りに取組む事が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、毎月確認を行っている。又、本社組織の監査チームによる遵法検査についても定期的に行っている。 これまでに違反及び行政当局からの指導なし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については原則として半年1回行っている。現行の目標及び取組み内容により一定の成果が見られたことから今年度も同一システムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。